

宇野 宇 (うの・う) プロフィール

放送作家38年

放送作家／作詞・作曲家／コンセプター・ストーリーメイカー／演出家
日本放送作家協会／日本脚本家連盟／日本音楽著作権協会



1958年生まれ／大阪府出身・東京都在住。
父の影響で3歳からピアノをはじめ、ピアニスト・指揮者を目指すのが12歳で挫折。
まず、中学受験失敗。そして、1974年、中三の2学期に校内暴力をリアル体験。
放課後の教室で1対16、不良に囲まれボコボコ～死ぬかと思った。
1977年、高三では真っ赤な117coupeでマイカー通学なんかも(笑)
高校は私服だったスゴく自由で、バンドやサーフィンなどパラダイスでした。
このタイミングで海外へ行く?なんて思いながらもやっぱり大学へ。
そして、幼い頃からの漫画家・映画監督になる夢もすっかり忘れ、
1981年、大学卒業と同時に放送作家・新野 新氏に師事、放送作家となる。
ペンネームの名付け親は、師匠と笑福亭鶴瓶氏。

漫才・コント・舞台の台本、テレビ番組の企画・構成・演出、クイズ&ゲームの開発、ステージの演出、
舞台監督、1983年～ラジオディレクター、CMプランナー、コピーライターを手がける。

企画・構成番組はとんでもない数。ヒット番組も多数。

また、新聞「宇野宇のここだけの話」・雑誌「宇野宇の100%好奇心」など署名連載も多数。

1993年、吉本興業・本社に異例のデスクを貰い、3年間、様々な企画や海外戦略を手がける。

1996年、バブルで遅れたが仕事の拠点を東京に移す。作家事務所『ウノコミュニケーションズ』開設。

電通にて約1年間企画を書く。1998年『ゴーイング株式会社』設立、ドラマ・映画・音楽の仕事へ。

CX『奇跡体験!アンビリバボー』でテレビディレクターを経験。

2002年CX『旬が好き!』全62話と主題歌・エンディングテーマを書く。

2008年『ウノプロダクション株式会社』設立。『放送作家集団ストレンジャー』主宰。

弟子は10名ほど。事務所の契約放送作家は50名を超える。

NHK『輝く女・北川景子』、BSフジ『桂歌丸・落語家生活50周年』など、企画・構成番組も多彩。

現在は、バラエティやトーク、人物ドキュメンタリーなどの企画・作家仕事とは別に、

「スマイルトークショー」と題して、1981年～作家活動の爆笑体験エピソードを盛り込んだ、

「トークショー(うのうばなし)」も、大学をはじめ様々な場所で展開し好評を得ている。

(2018年7月)